

2026年度事業活動計画(2026年4月1日～2027年3月31日)

全国レガシーギフト協会の以下の活動指針は継続するものとする。

- 中立公正な組織であり、遺贈寄付を受けることを目的とはしていない
- 遺贈寄付推進のために、遺贈寄付の情報発信を網羅的に行い、仕組みを提供し、遺贈寄付を取り巻く社会環境の整備を推進していく
- 団体の遺贈寄付担当者同士のコミュニティを形成する(交流、相互研鑽等)

協会創立10周年を迎える2026年度は、次の10年を見据えた以下の3つの柱で事業展開を行っていく。

1. 遺贈寄付ウィークと10周年記念事業を中心とした事業推進
 - 過去の総括と未来への発信、認知拡大
 - 10周年記念事業の実施
2. 全国のエコシステムの強化・進化
 - 加盟団体・外部パートナーとの連携深化
3. 組織のガバナンス体制の刷新
 - 実装フェーズに耐える体制への進化

上記重点施策の具体的な取り組み計画は以下のとおりである。

1. 遺贈寄付ウィークと10周年記念事業を中心とした事業推進

- 遺贈寄付ウィーク(9月10日木曜日～9月18日 金曜日)
 - 【コンテンツ】遺言書作成ワークショップのパッケージ展開・普及
 - エンディング産業展への出展(9月10日、11日)
- 10周年記念イベント(11月27日開催予定)
 - 10周年記念遺贈寄付サロンとして実施
 - 2016年の提言に照らした10周年の活動を評価(当時のメンバーからフィードバックを集め反映)
 - 次の10年の提言
 - 海外の団体(候補 英国 Remember a Charity)からのメッセージ
 - 記念小冊子の発行
- 「全国寄付者意識調査」
 - 全国初となる寄付者の意識調査と分析。12,000人強からの回答を分析予定。
 - 10周年記念小冊子での概要報告と、報告書の作成

2. 全国のエコシステムの強化・進化

- 会員との連携強化
 - 遺贈寄付サロンや会員限定サロンを通じたナレッジの共有の継続
 - 加盟団体: 遺言書作成ワークショップを軸にした地域での展開のはたらきかけ
 - 地域の遺贈寄付推進エコシステム作りの契機として
 - 2026年度は10か所での開催を目標に(2025年度は6か所開催)
 - 全国コミュニティ財団協会へのヒアリング
 - コミュニティ財団の遺贈寄付に関連する困りごとやニーズについて
 - 地域金融機関との連携の可能性について
- 受遺団体以外との連携強化
 - 既存コンテンツを軸にした関係性の構築(終活事業者を中心として)
 - 遺言書作成ワークショップの開催提案
 - 『遺贈寄付の第一歩』冊子の活用提案

3. 10年先を見越した体制への変化

- 理事会においてチームを編成し、事業推進を担当制に
常任理事のみならず、全理事参加のチーム体制を編成し、協会事業への支援を
 - 10年間振り返り/これからの10年提言チーム
 - 寄付者意識調査チーム
 - 遺言書作成ワークショップチーム
 - 10周年記念イベントチーム
 - 金融機関連携チーム

- ・ 加盟団体と地域の連携
- ・ 政策提言チーム 等を検討

4. 事務局運営

- ・ レガシーパートナーに新設された「スタンダードレガシーパートナー」のプロモーション
- ・ 3拠点での事務局運営を継続しつつ、コミュニケーションを怠らず、業務の効率化の追求